

誰もが簡単に各種支援制度を知り、支援を受け取ることが出来るアプリの開発

☰ 概要

子供が貧困なのは親からの貧困の連鎖が起因の一つだと考えている。

日本には貧困な子供たちのための各種支援が多数存在している。

その支援自体を知らない大人や、支援対象に該当するかなどの判断がつかない大人もいると考える。

そのような方向けに各種支援制度が一覧化され、各種支援対象に該当するかの判断が行えるアプリの開発を行う。

アプリのインストールは無料とする。

インストール後、入力フォーム画面に進み情報の登録を行い各種支援対象に該当するかの判断をアプリで行う。

・家計の状態（収入等）は入力のみならず、収入証明書等をアプリに読み込みさせ内容の整合性を取る。（不正利用防止のため）

入力、読み込みした内容の機密情報の漏洩を防ぐために、適切なセキュリティの構築も行う。

・該当する支援があった場合は申請方法などもアプリを通して分かるようにする。

制度は時期や予算、新たな支援制度などと変化していくため、常に最新の情報を提供するようにアップデートを行っていく。

アプリ開発の資金調達は金融機関から融資を受ける。

アプリには広告を募集し広告収入を得る。

☑ 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

課題：各種支援制度を知らない大人が子供の為に、支援を受け取ること。

どうしたいか：支援を受け取り、子供の今を少しでも明るい未来へ変えていくこと。

☑ 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

大人（親）がアプリのインストールを行い、各種支援制度の把握すること。

また該当するかの判断をアプリで行い、該当する場合は支援を受け取ること。

☑ 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

就活支援サイトなどが類似しているかと考える。

☑ 有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

就活支援サイトは登録すると営業の方からの頻繁な電話等があると聞いたことがあるが、今回のアイデアのアプリはそのような電話は無い。

☑ 実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

世の中の多くの人々が手に持っているスマートフォン、PCで使用できるように考えている。

☑ 課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

アプリの知名度を広げる事。

SNSの発信やインフルエンサーの活用。

☑ 期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

初期開発費用 :約600万円

開発期間：6ヶ月程度

運用費用：年間約150万円

インフルエンサーへの依頼：約100万円（フォロワー50万人前後の方を想定）

 未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

支援内容は様々あるが貧困と呼ばれる子供の未来が少しでも良い方向に進めると考えられる。

情報の格差社会がこのアプリを通してなくなれば今より子供の貧困率は少なくなると考える。